

静注用マグネゾール 20mL

【この薬は？】

販売名	静注用マグネゾール 20mL MAGNESOL 20mL
一般名	硫酸マグネシウム水和物・ブドウ糖
含有量 (1管中)	硫酸マグネシウム水和物 2g ブドウ糖 2g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、子癇（しかん）（けいれん発作）の発生抑制・治療剤に属する薬です。
- ・この薬は、子宮筋などに作用することにより、子癇を抑制します。
- ・次の目的で、医療機関で使用されます。

重症妊娠高血圧症候群における子癇の発症抑制及び治療

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用により、高マグネシウム血症（吐き気、気力が出ない、体に力が入らない、息苦しい、お腹が張る）がおこり、マグネシウム中毒（腹痛、下痢、吐き気、体がだるい、尿が出ない、お腹が張る、冷汗が出る、意識の低下、息苦しい、息切れ）が発症することがあるため、投与中は、慎重な観察（膝蓋腱反射、呼吸数の変動の確認あるいは血中マグネシウム濃度の測定等）が行われます。これらの症状が

あらわれた場合には、ただちに医師に教えてください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重症筋無力症の人
- ・過去に心ブロックがあった人
- ・低張性脱水症（ナトリウムの欠乏によりおこる血液量が少なくなっている脱水症）の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師、薬剤師または助産師などの医療従事者に教えてください。

- ・腎臓に障害のある人
- ・高マグネシウム血症の人
- ・低カルシウム血症の人
- ・カリウムが欠乏しやすい人
- ・糖尿病の人
- ・尿崩症の人
- ・貧血症の人
- ・心臓に障害のある人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師、薬剤師または助産師などの医療従事者に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は医療機関で使用される注射薬です。

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・母体および新生児に高マグネシウム血症を引き起こし、熱感、潮紅、口渇、血圧低下、中枢神経抑制、心機能抑制、呼吸麻痺、骨格筋弛緩等の症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に伝えてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中は、膝蓋腱反射、呼吸数の変動の確認あるいは血中マグネシウム濃度の測定等が行われます。
- ・過量に投与した場合、母体および新生児に高マグネシウム血症を引き起こし、熱感、潮紅、口渇、血圧低下、中枢神経抑制、心機能抑制、呼吸麻痺、骨格筋弛緩等の症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に伝えてください。
- ・この薬とリトドリン塩酸塩（注射剤）を併用した母体から出生した早産児において、高カリウム血症の危険性が高いことが報告されているので、これらを併用した場合には、症状の有無にかかわらず新生児の心電図または血清カリウム値のモニタリング

グが適切に行われます。また、この薬を分娩前 24 時間以内に投与した場合は、新生児に高マグネシウム血症を引き起こす場合があるので、生後から 24 時間まで、もしくは 48 時間までの間は監視を行います。

- ・この薬を出産直前に使用した場合は、出産直後の授乳について医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または看護師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
マグネシウム中毒 マグネシウムちゅうどく	腹痛、下痢、吐き気、体がだるい、尿が出ない、お腹が張る、冷汗が出る、意識の低下、息苦しい、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、冷汗が出る
頭部	意識の低下
口や喉	吐き気
胸部	息苦しい、息切れ
腹部	腹痛、お腹が張る
便	下痢
尿	尿が出ない

【この薬の形は？】

性状	無色澄明な注射液
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	硫酸マグネシウム水和物 ブドウ糖

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：あすか製薬株式会社 (<http://www.aska-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：0120-848-339

受付時間：9：00～17：30

(土・日・祝日および当社休日を除く)